

2022/07/04（月）

朝の礼拝

聖書 創世記 1章28節（旧約聖書3頁）

神は彼らを祝福して言われた。「産めよ、増えよ、地に満ちて地を従わせよ。海の魚、空の鳥、地の上を這う生き物をすべて支配せよ。」

支配せよ

ある歴史家は現代を「人間至上主義」の時代と言い、地質学では「人新生」とも言われています。地球温暖化などの気候変動、大量絶滅による生物多様性の喪失が、人類の活動が原因だとする考えです。

例えば、人類の人口は77億人以上です。しかし人間が家畜としている牛、豚、鳥、ペットとしている犬や猫を除いた生き物はほとんど絶滅の一途を辿っています。神様が「生き物すべて支配せよ」と言われたのは、そういう意味でしょうか。

確かに人間が自然の中で生き延びるには困難の連続です。豪雨や洪水、火山の噴火、地震、河川の氾濫、干ばつなど、古代では王様が神となって自然も支配すると信じられていました。しかし聖書はすべての人間の責任だと言っています。

近代になり科学が発達し、人間は自然を観察し、データを集め、災害を少しでも回避しようと努力しています。しかし同時にその科学で人類は自分たちに便利で、都合のいい世界にしていけないでしょうか。生き物を支配する責任とは何でしょうか。

(しばらく黙祷しましょう)

万物の造り主よ、あなたは万物を造られた時「見よ、それは極めて良かった」と祝福されました。あなたの愛によってつながるいのちは素晴らしいと言われました。どうか「すべての生き物を支配せよ」と言われたあなたの御心を求め、いのちあるものを慈しみ、大切にする道へとお導きください。いま厳しい暑さが続き、台風も接近してきました。どうか体調を整え、暴風に備えることができますように。そして今週からテストの返却が始まります。どうかその結果と謙虚に向き合い、よりよき学びの励みとしてください。今日一日もすべてをあなたに委ね、喜びと感謝のうちに過ごさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン